

1 人権思想の歴史

- (1) 人権思想の元となる「人間の尊重」という考え方は、14世紀ごろヨーロッパで起きた(**ルネサンス**)に始まる。
- (2) 16～18世紀には、(**絶対主義**)という政治体制の下、国王が大きな力を持ち、人々の自由や平等を制限していた。
- (3) 17～18世紀になると、理性を重んじ、個人の自由や平等を求める、(**啓蒙思想**)と呼ばれる思想が広まった。
- (4) 啓蒙思想に影響を受けた人々は、自由や平等を求めて(**市民革命**)を起こし、いくつかの国で国王による政治が倒された。
- (5) 人々が市民革命で国王から勝ち取った、個人の自由や平等などの権利は(**人権**)と呼ばれ、現代に受け継がれている。

2 啓蒙思想の展開

- (6) 啓蒙思想の中で、国家が、人々間の約束に基づいて成立するという考え方を(**社会契約説**)と言う。
- (7) イギリスの思想家・(**ロック**)は、社会契約説を根拠に、人々の自由を守らない政府は倒しても良いと主張した。
- (8) フランスの思想家・(**ルソー**)は、社会契約説を根拠に、国の政治は国民全体の意思によって決めるべきだと主張した。
- (9) フランスの思想家・(**モンテスキュー**)は、国の権力を抑えるために、権力を分けてバランスを取るべきだと主張した。
- (10) モンテスキューによる「権力を抑えるために、権力を分けてバランスを取る」という考えは、(**三権分立**)と呼ばれる。

<ワンポイント解説>

... このように、人間の尊重を重んじた考え方を、「ヒューマニズム」と呼ぶ。

... 絶対主義では、国王の権力は神から授けられたので、何にも制限されないと考えられた。

... 啓蒙思想は、特にフランスで発達した。

... 代表的な市民革命には、イギリスの「清教徒革命」や「名誉革命」、フランスの「フランス大革命」がある。

... 憲法は、国の権力を制限し、市民革命を通じて勝ち取った人権を、将来にわたって守るために生まれた。

... 実際には、国家が人々の約束に基づいて成立したわけではないが、そのように考えることで、人々の権利を主張する根拠になった。

... ロックは、人々には、自由を守るために政府を倒す「抵抗権」という権利があると考えた。

... ルソーは、国の政治が国民全体の意思に基づくことを、「人民主権」と呼んだ。

... モンテスキューは、権力を、法律を作る「立法権」、法律を執行する「行政権」、法律を守る「司法権」に分けて考えた。

... モンテスキューは、三権分立の考え方を『法の精神』という本の中で主張した。



【アプリ版のご紹介】中高生の公民

基本的人権、三権分立、需要と供給、社会保障、地球温暖化、。公民を学ぶ上で絶対に抑えておきたい重要事項を、分かりやすく解説。このアプリ一本で、政治・経済・国際関係の3分野をマスターすることができます。



【他アプリからオマケの一題】

中高生の古文

助動詞「けり」に接続する用言の活用形はどれ？
(A) 未然形 (B) 連用形 (C) 終止形 (D) 連体形